

# AAV中空粒子を用いる臓器特異的DDSの臨床応用に向けた開発

- 期待される成果  
臓器特異的AAV中空粒子を用いたドラッグデリバリーシステム
- 想定される実用化の時期 2025年頃

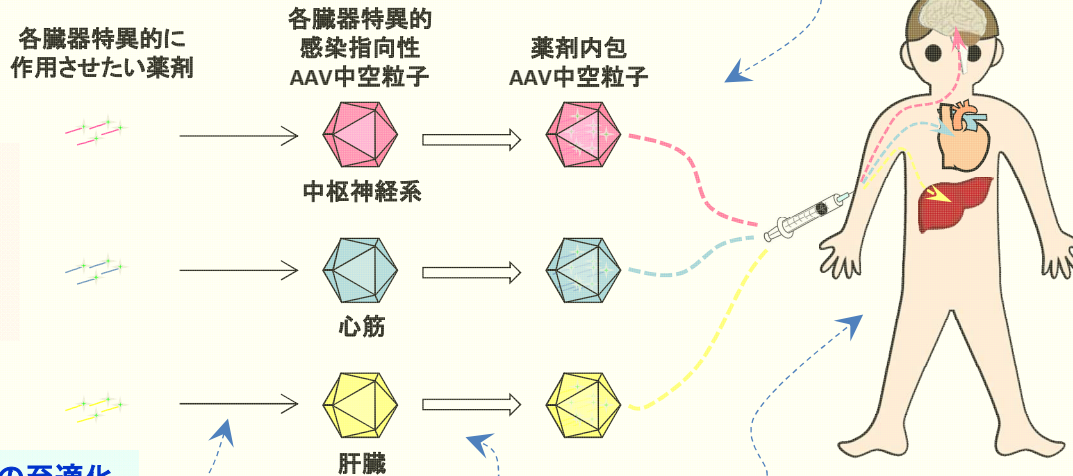
- シーズの内容  
・AAVの感染性を喪失することなく、薬剤をAAV中空粒子内に取り込ませる方法

- プロジェクトリーダー  
タカラバイオ株式会社・峰野純一
- 実施機関  
タカラバイオ(株)、日本医科大学
- 実施期間  
平成25年12月～平成28年11月

- ・新規AAV中空粒子生産システムの構築
- ・生産システムのGMPへの適用  
→AAV中空粒子の大量製造法の確立とGMP化

- ・薬剤導入効率評価系の構築  
→導入条件検討、製剤の物性評価での使用

最終的に創出されるイノベーション  
→あらゆる臓器に特異的に薬剤導入可能なシステム



- ・薬剤導入条件の至適化  
→導入効率を最適化

- ・臓器特異性を示す新規AAVの同定  
→(特に)心筋に指向性を持つAAV

- 種々のAAVによる指向性の確認  
→マイクロドーズ試験のPOCを得る